

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
理科・生物基礎		普通科・2年	3	高校生物基礎 新訂版（実教出版）
科目の概要と目標		日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1・2 学期	第1章 生物の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と共通性 ・細胞とエネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞が細胞小器官から成り立っていることを理解する。 ・原核細胞と真核細胞の基本的な違い。単細胞生物と多細胞生物、細胞の多様性を理解する。 ・呼吸や光合成とエネルギー、代謝を理解する。 	
	第2章 遺伝子とその働き	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報とDNA ・遺伝情報の分配 ・遺伝情報とタンパク質の合成 	<ul style="list-style-type: none"> ・DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解する。 ・体細胞分裂の際のDNAの複製と分配により遺伝情報が伝えられることを理解する。 ・DNAの複製は細胞周期の間期に行われることを理解する。 	
	第3章 生物の体内環境とその維持	<ul style="list-style-type: none"> ・体内環境 ・体内環境の維持のしくみ ・免疫 	<ul style="list-style-type: none"> ・体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などはたらきやしくみを理解する。 ・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを理解する。 ・ホルモンを分泌する内分泌腺と汗や消化液などを分泌する外分泌腺との構造上の違いについて理解する。 ・体内の自然免疫、獲得免疫のしくみについて理解する。 	
3 学期	第4章 生物の多様性と生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・植生と遷移 ・気候とバイオーム ・生態系と物質循環 ・生態系のバランスと保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなバイオームが成立する過程、世界や日本におけるバイオームの分布について理解する。 ・植物の生活様式を反映する生活形の意味を知り、各生活形とそれぞれの気候条件の関連性について理解する。 ・生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみについて理解する。 ・生態系における物質の移動による影響を知り、環境問題とその解決策について理解する。 	